

# 福祉から

編集・発行：富津市社会福祉協議会

## 第 34 回富津市社会福祉大会

～みんなで作ろう心ふれあうハートフルタウン～

**期 日** 平成 27 年 1 月 24 日 (土)**時 間** 午後 1 時から午後 4 時まで**場 所** 富津公民館

日頃社会福祉発展に功績のあった団体及び市民の方々を顕彰し、感謝の意を表するとともに、ふれあいと支えあいのある心豊かな社会の実現を改めて認識し、本市における社会福祉の一層の発展を図ることを目的に、市内の福祉関係者・市民の皆様が一堂に会し、開催します。



### 【開催内容】

◆大会式典 (13:00～13:45)

◆アトラクション (13:50～14:20)



\*大道芸人 JT によるアツと驚く、そして楽しいジャグリングなどなど。  
2011 年大道芸のコンテスト芸王グランプリに出場。  
審査員特別賞を獲得。

◆中学生・高校生災害時対応研修参加者による  
パネルディスカッション (14:30～15:30)

\*8 月に行いました岩手県宮古市への研修に参加した  
市内の中学生・高校生が発表を行います。



◆抽選会 (15:35～)

皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

(ご来場者には、平成 27 年カレンダーを贈呈します。)

## 平成 26 年度 中学生・高校生 災害時対応研修を実施しました。 (平成 26 年 8 月 7 日～9 日)

東日本大震災から 3 年以上が経過し、時間とともにこの震災も新聞やテレビなどで目にする機会が少なくなってきました。しかし、被災された方々は、未だ復興途上にあり、この震災を風化させないためにも、そして、現在の復興状況や復興に向けての活動、また、災害時にどのように対応すればよいのかを学ぶために、富津市社会福祉協議会では、市内の中学校から 8 名の生徒、高等学校から 2 名の生徒、富津市教育センターから 1 名の職員の参加により、2 泊 3 日で、岩手県へ災害時対応研修を実施しました。

参加した生徒は、自分の目で被災地をみて、また、地元の方々から当時のお話しなどを聞くことにより、「震災が発生した時にどこに避難するか家族と考えたい。」「津波がきたらパニックになる。しっかりと防災に対して考えたい。」「これからしっかりとしていきたい。また、自分もボランティアをしたいと思う。」など災害に対しての様々な考えを持つようになりました。

### 【災害時対応研修で実施した主な内容】

#### ◆宮古市社会福祉協議会での研修

\* 震災当時から現在の復興に向けての活動を学ぶ。

#### ◆宮古市市内の状況視察。

\* 宮古市田老地区世界最大級の防潮堤から、防災ガイドによる震災当時や命の大切さを学ぶ。

#### ◆宮古市及び近隣市の現状を視察



田老地区の防潮堤から  
「防災ガイド」から学ぶ



宮古市社協での研修の様子



陸前高田市の奇跡の一本松

今回、第 34 回富津市社会福祉大会の会場で、参加した生徒から、研修を終えてどのような考えなどをもったか発表してもらいます。

いざという時に…。

皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

\* 1 月発行予定の「福祉ふつつ」にて、再度、第 34 回富津市社会福祉大会について、皆さまにお知らせいたします。